

パネルディスカッション 技術情報流通の課題と解決策

2011. 2. 25



サプライヤ企業

技術情報流通課題、R&Rへの期待、
R&R運用上の課題

バイヤ企業

R&R運用上の課題解決策
サプライヤ企業に聞きたいこと



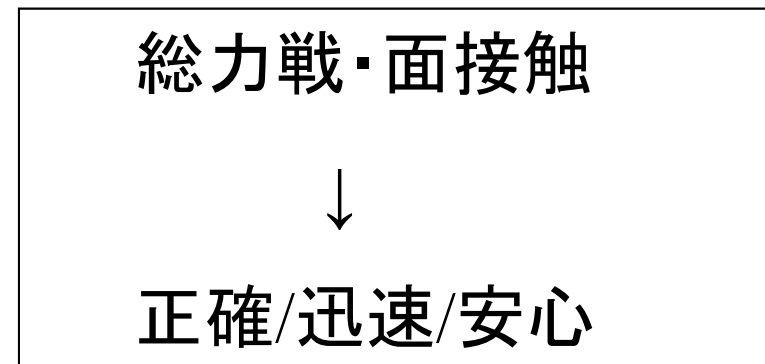
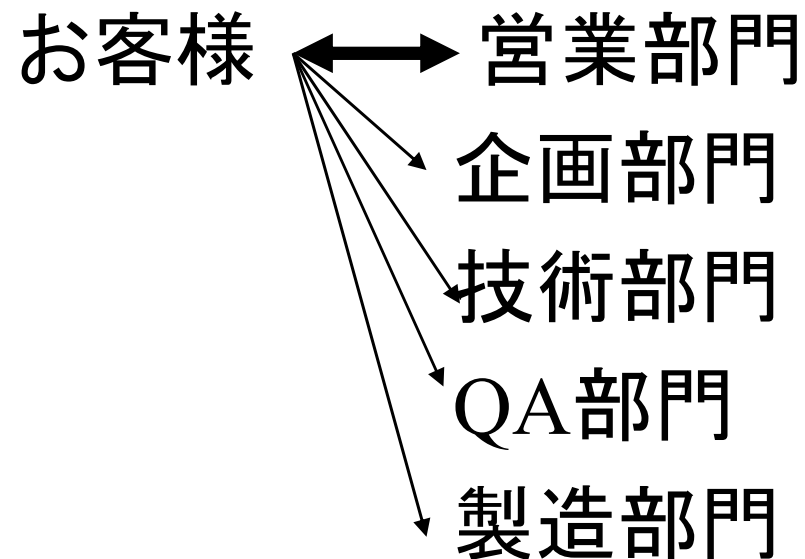
サプライヤ企業：太陽誘電、東芝、KOA
バイヤ企業：キヤノン、ソニー、日本電気
サービスプロバイダ：豊通エレクトロニクス
モデレータ：ロゼッタネットジャパン

R&R RISEシステムに期待するもの

2011年2月25日

Q1 RISEに期待するもの①

お客様のリクエスト⇔サプライヤからお客様への提案……部品技術情報の即時共有化



Q2 RISEに期待するもの ②

MEET'Sシステム(2010/12/28をもって終了)

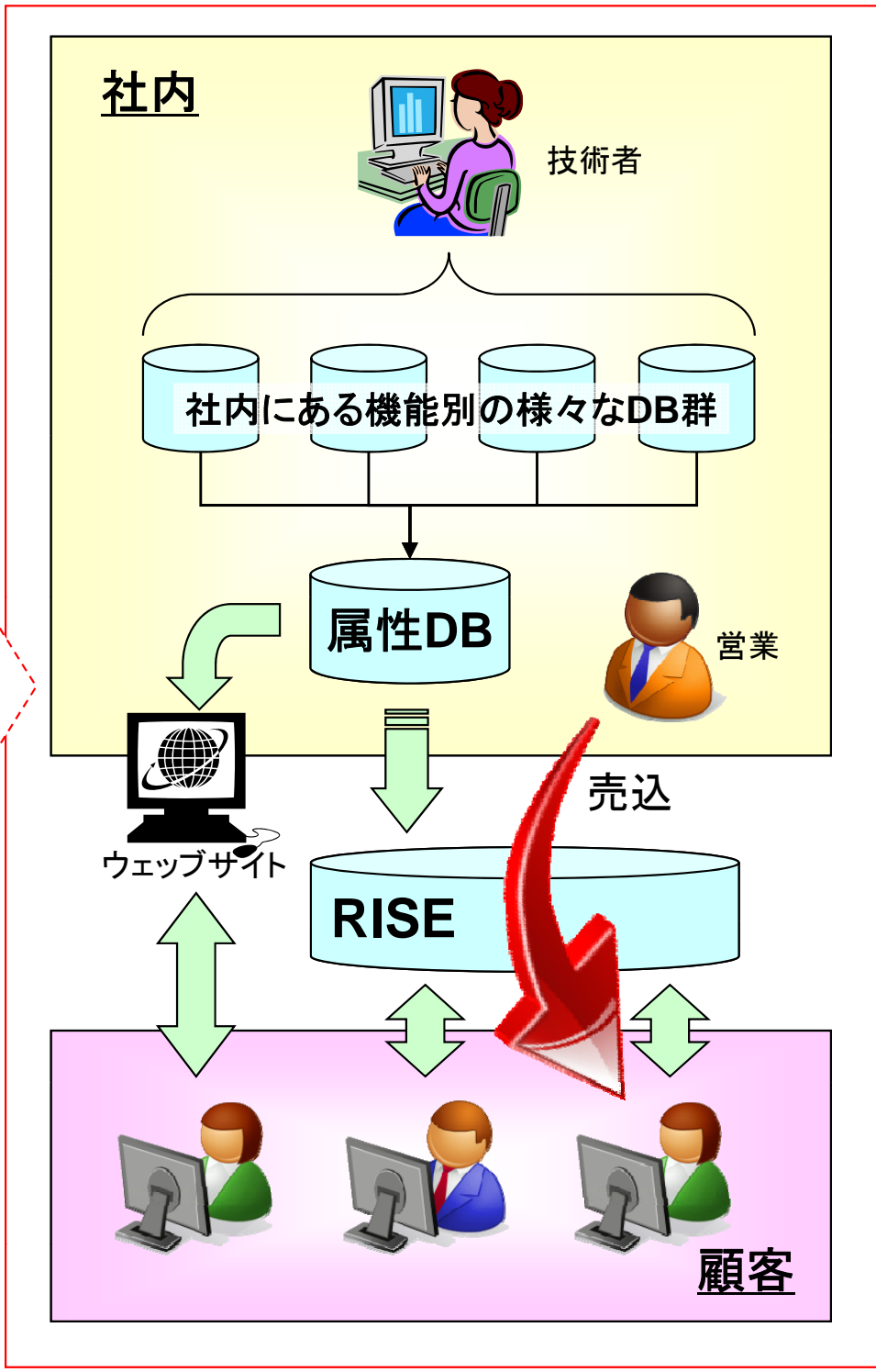
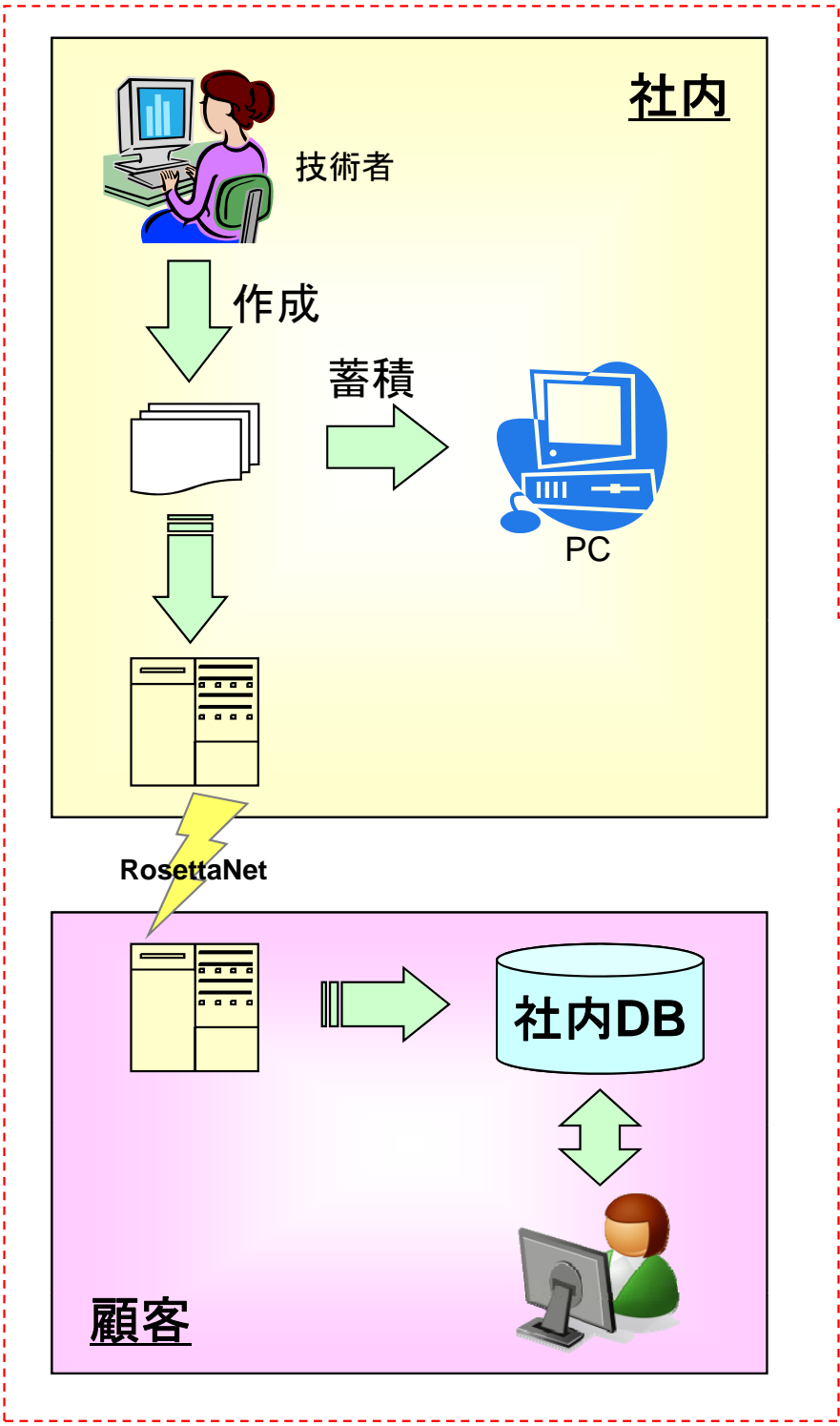


単一方向の部品技術情報配信

RISE



双方向の部品技術情報交換/全体・個別対応



R&R RISEシステムへの質問

2011年2月25日

Q1 RISE参加のメリット

1. RISEへの参加には電子部品技術情報をECALSフォーマットで従来納入している部品の納入仕様書・購入仕様書の内容で作成が必要ですか？ そうだとするとかなりのデータ作成労力が掛かります。
2. RISEへの参加は部品メーカーにとって、どのようなメリットがあるのでしょうか？

Q2 正本は何ですか

- RISEで交換される電子データと従来の紙媒体で交換されていたものとどちらが正本ですか？
 - 電子部品技術情報⇔納入・購入仕様書
 - RISE上の見積り⇔見積書
 - RISE上の製品ステイタス⇔変更・生産中止申請書

Q3 マッチングテーブル登録

- 「セットメーカー部品番号 \leftrightarrow 部品メーカーP/N」のマッチングテーブルを登録するのは誰ですか？

Q4 RISEの運用

- 一部のサプライヤがRISE用のデータ作成が出来なくても、RISEの運用は開始されますか？